

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2019年12月24日付

京畿道漣川郡野生いのしし弊死体から ASF ウイルス検出  
(野生いのしし 51 例目)

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbfWFmemElMkY2OCUyRjMyMjMzMiUyRmFydGNsVmllidy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTN EJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTI2cmZzRW5kZGVtdHIIM0QlMjZwYWdlJT NEMSUYnMjic09wZW5XcmRTZXElM0QlMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hX cmQlM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCU yNg%3D%3D>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は12月24日、京畿道(キョンギド)漣川郡(ヨンチョンゴン)新西面(シンソミョン)で発見された野生いのしし弊死体からASFウイルスが検出されたと明らかにした。

○弊死体は漣川(ヨンチョン)民間制限線内の山で12月23日環境部捜索チームによって発見された。漣川郡(ヨンチョンゴン)は野生いのししASF標準行動指針により試料を採取して現場を消毒すると共に死体を処理した。

○国立環境科学院は12月24日、ASFウイルス陽性の確定診断結果を関係機関に通知した。これで漣川(ヨンチョン)で16件の野生いのししASF陽性となり、全国的には51件になった。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回の弊死体が発見された1次フェンスの中には、野生いのししのASF感染危険性が高い地域で、感染弊死体発見がさらに見つかるだろう”と話した。

以上